

政策課題研究 4

生物多様性保全・再生に関する研究

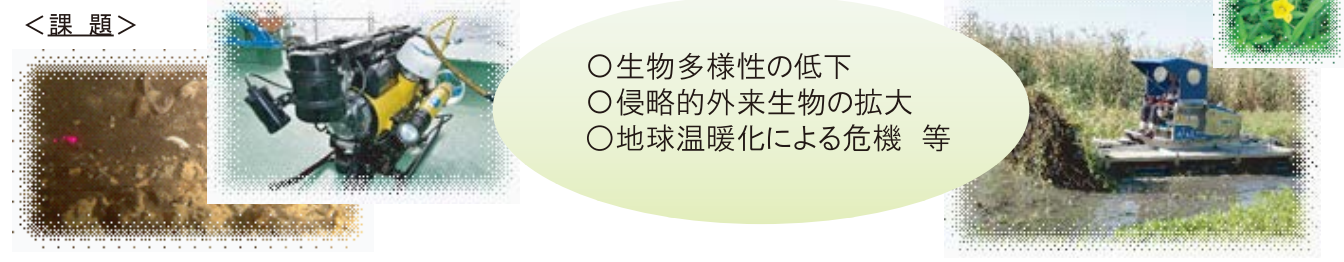
生物多様性保全活動の成果を科学的に評価できる手法が十分に確立されていないため、活動の実感を得るための評価に向けた手法研究を行い、改善策へと繋げていくことを目指します。また、滋賀の生物多様性を脅かす喫緊の課題（侵略的外来生物、気候変動等）に対応するとともに、長期的な視点で科学的知見を評価に組み込むための方法と仕組みについて研究を推進します。

<サブテーマ>

- ・ 侵略的外来生物が生物多様性に与える影響
- ・ 気候変動による深湖底希少野生生物の危機に関する研究
- ・ 県内における生物多様性の把握と科学的評価手法の検討
- ・ 社会経済活動における生物多様性保全の順応的な取り組み推進方策の検討

【現状における課題】

<課題>



○生物多様性の低下  
○侵略的外来生物の拡大  
○地球温暖化による危機 等

【課題解決に向けた対応】



- 1 オオバナミズキンバイ群落内の湖岸生態系食物網構造**
  - ドローンによる植生モニタリング
  - 外来植物の繁茂や駆除による生物相の変化
- 2 深湖底に生息する固有希少種のROV(有索式水中ロボット)、計量魚探モニタリング**
  - 貧酸素の拡大と固有種の長期変動解析
  - 琵琶湖深水層の広域的生物モニタリング
- 3 滋賀県生きものデータバンクの運用と優先保全地域等の解析**
  - 滋賀の生物分布データ収集と一元化
  - GIS等を活用した優先保全地等の解析
- 4 生物多様性CSR(企業の社会的責任)活動推進方策の検討**
  - CSRに関する住民意識調査
  - 順応的な取り組みによる効果の検証

- 生物多様性保全・再生活動成果の見える化
- 水辺の生物に関する優先保全地の提示

政策課題研究 5

琵琶湖を育む森林に関する研究

森林の多面的機能や森林資源活用を考えたゾーニングにかかる分析および滋賀県の森林を健全な姿で次世代に継承していくための森林の保全管理に関する研究を行います。また、新たに琵琶湖を育む森林の多様な価値を創生するため、それらの価値を幅広く抽出し、体系的に整理・分析します。

<サブテーマ>

- ・ 森林のゾーニングにかかる自然的条件や社会的条件の分析
- ・ 資源の循環利用を目指す森林の保全管理に関する研究
- ・ 森林の多様な価値の創生に関する研究

【現状における課題】


- 間伐されずに放置されてきた人工林
- シカ等による下層植生の衰退




- 森林の多様な価値の保全
  - ・ 水源涵養、水質浄化
  - ・ 土壌保全
  - ・ 土砂災害リスク
  - ・ 地球温暖化防止
  - ・ 生物多様性の保全
  - ・ 木材価値 …etc

【課題解決に向けた対応】

- 1 人資源の循環利用と多様な機能の向上を目指す森林の区分**
  - 資源の循環利用を目指す森林における社会的・自然的条件の分析
- 2 針葉樹人工林の成長特性と広葉樹誘導のための条件の把握**
  - 高齢林の林分構造の把握
  - 伐採跡地における天然更新の方策の検討
- 3 森林の多様な価値の体系的整理**
  - 人々が森林に対して抱く多様な価値の抽出と整理
  - 森林の価値や機能を向上させるために必要な森林整備のあり方の検討



多様な機能を持つ森林



天然更新の試験地

- 森林のゾーニングに係る自然的、社会的条件の提案
- 高齢林における各成長量の把握と広葉樹誘導に必要な手法の確立
- 森林の多様な価値の提示